

TRY・アングル



<学校・家庭・地域> 三者がつながいあう取組を

本年度は新型コロナウイルス感染症への対応として3月2日（月）から臨時休校となりました。子どもたちの消えた学校は、火が消えたようです。

そんな中で、規模を縮小してではありますが、地域・保護者の協力を得て、無事に卒業式を行うことができました。風早小学校を巣立った子どもたちが名残惜しそうに写真を撮ってもらったり、挨拶をして回ったりする様子は、学校への思いが伝わる瞬間でもありました。これからも学校・保護者・地域が連携をとって、愛情深い子どもたちを支え育てていきたいと思ひます。

さて、コミュニティスクールとしての2年目が終わろうとしています。今回の通信では、前回に続き、地域・保護者の方々と一緒に、どのように

- 地域を生かす
- 地域を学ぶ
- 地域と学ぶ
- 地域に還元する



取組を行ったかについてお知らせします。

学校運営協議会

保護者や地域住民の代表の方々から構成される評議員により、年4回にわたって学校運営協議会が開催されました。学校運営の基本方針を承認したり、教育活動の充実や活性化に向けて意見を出してもらったりしながら進めていきました。両者の連携により活動に関する振り返りでは、

- 校内における児童の意識調査結果を県内や全国と比較する
- コミュニティスクールとしての認知度の向上
- チーム担任制の認知度の向上
- 地域貢献型総合的な学習の時間による地域の活性化や町づくりの推進への一層の期待

といった、学校外部から見た客観的な意見をいただくことができました。

これらのアドバイスから、初年度「仕組の整備」2年目「地域・家庭・学校・子どもがつながる」に続き、3年目からは「発信する」を意識した取組を考えていきます。

また、学校運営協議会の活動として「地域副読本」が発行されました。この副読本は、地域の歴史や特産物等のエキスパートの方々取材をして作っていただきました。今後は風早小学校の児童や教職員が授業で使えるように準備を進めていきます。



学校支援ボランティア制度の充実

学校支援ボランティア 67名

【登録団体】・風早子どもを守る会・みづき会・風早女性会・大田女性会
 ・風早寿大学・風花会・風早小学校PTA

学習支援

給食ボランティア

寿大学と風早女性会の方にご協力いただき、給食準備時間での児童の配膳支援や、食事の際のマナーや食の知識の指導などを行っていただきました。



クラブ活動支援ボランティア

今年度初の試みでしたが、地域におられる各部門のエキスパートの先生方ならではの手厚い指導に子どもたちの目が輝きました。



地域学習支援ボランティア

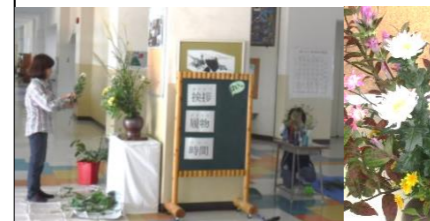
地域貢献型総合的な学習の時間の充実に向けて、各学年の担任がマイタウンティーチャーと随時相談しました。アドバイスを基に授業を進めました。



環境支援

生け花ボランティア

みずき会の方が季節や行事毎に季節の花を生けてくださっています。季節を感じさせる花が見る人を和ませました。卒業式前日、演台の花や、玄関、6年生教室などにすばらしいアレンジを作って飾っていただきました。華やかな卒業式になりました。



修繕ボランティア

子どもたちが、毎日、安全かつ快適に過ごすことができるよう、藤棚の剪定を行っていただいたり、スロープを作っていただいたりしました。子どもたちは、変化に敏感です。新しいスロープにもすぐに気が付いて喜んでいました。



安全支援

登下校の見守りボランティア

子どもたちが、毎日、安全に登下校できるように、見守り活動を行っていただきました。保護者からは「毎日の登下校に親がついて行くことは難しく、見守りをさせていただくことで、安心して子どもを送り出すことができます。いつもありがとうございます。」との感想をいただいています。



引率支援ボランティア

子どもたちが校外学習に出る際には、PTAの方が引率支援に来てくださいました。たくさんの目で見守ることで、教師が指導に専念し、子どもたちが安心して活動することができました。



TRY アングル



地域貢献プロジェクトの展開

地域学習支援ボランティアであるマイタウンティーチャー（MT）のご協力を得て、地域に誇りと愛着をもち、地域を元気にしようとする子どもを育てようと学年ごとに実践した取組についてお知らせします。

○特別支援学級「生活単元学習～ものづくり～」

社会福祉協議会所属ゆうゆうクラブの方に、毎年、しめ縄づくりを教えていただいています。子どもたちは年を追うごとに、手際がよくなっており、「上手になっているね。」と成長を喜ばれていました。また、今年はお礼として、自分たちが育てたさつまいものつるを使ったクリスマスリースを渡しました。ボランティアの方からの「来年もしめ縄づくりに来るぞ。」との言葉に子どもたちも、来年への期待を高めました。



○1年生「生活科～昔遊び～」

寿大学の方々と「昔遊び集会」を行いました。竹馬・輪回し・お手玉・あやとりの4つの遊びのこつを、子どもたち一人ひとりに丁寧に教えてくださいました。子どもたちは、昔からの遊びの面白さに気付き、みんなで遊びを楽しみました。また、友だちや地域の方と関りを深める中で、「自分たちが楽しませてもらったから、今度は名人さんを楽しませたい！」との声があがり、「カルタ大会」を企画しました。ボランティアの方に喜んでいただこうと、主体的に考え行動しました。



○2年生「生活科～ときどきわくわくまちたんけん～」

風早郵便局の郵便局長、能島さんに学校へきていただき、はがきを相手に届けるために書かなければならないことや、郵便局の仕事についてお話していただきました。その後、さらに生まれた疑問を解決しようと、実際に郵便局へ行きました。ポストの取り扱い方や昔の郵便局の場所を知りました。子どもたちは、自分たちの身近にある郵便局の仕事への理解を深めると共に、親しみをもちました。野島さんには、学習発表会の合奏練習の際にも、楽器のたたき方やコツを教えていただき、「自分たちの町に楽器が得意な方がいるのだな。」と憧れをもちました。



○3年生「総合的な学習の時間～わたしたちほくたち風早探検隊！～」

MTとして、びわ農家の山中さんを中心に、地域のボランティアの方やJA芸南の協力を得て、びわの実の袋かけや収穫などの体験活動やインタビューをしました。子どもたちは、生産者のびわづくりにかける思いや、風早のびわが広島県で1位の生産量を誇りながら、生産者の高齢化に伴い生産を辞める人も増えていることや、びわを食べる人や食べる機会も減っていることを知りました。その結果、風早のびわをもっとたくさんの人に食べてもらい、おいしさを知ってもらうことが必要だとの思いから、びわをPRしようと、チラシやポスターを作って告知することや、風早のびわを紹介する動画を発信することや、びわのテーマソングを作りたいと考えました。



○4年生「総合的な学習の時間～わたしたちほくたち大田、小松原・大芝探検隊！～」

4年生は、MTの坪浦さん・井川さんと大田探検をしたり、MTの吉田さんと小松原探検をしたり、小松原の方々に、特産物や神社にまつわる歴史などについてインタビューしたりしました。子どもたちは、地域から子どもが減ってしまったことや、もっと町を昔のように、にぎやかにしたいという地域の方の思いにも気づき、その思いに答えようと、太田ふるさと祭りや小松原敬老会に参加し、ソーラン節を披露しました。感動して涙を流される方を見て、大きな役割を果たしたことを実感しました。



○5年生「総合的な学習の時間～地域の高齢者とつながろう～」

あきまる園の職員の方から「お年寄りを元気づけてほしい」とのお手紙をもらったことから、あきまる園を訪問しました。子どもたちは、初めて会うお年寄りの方々と交流する中で、お年寄りとの接し方には工夫が必要であることに気づき、お年寄りへの理解を深めようと介護体験や認知症サポーター養成講座、実際にあきまる園で働いている人へのインタビューなどの体験を重ねました。あきまる園での2度目の訪問では、2曲を合唱したり、お年寄りと視線を合わせて会話や折り鶴を折ったりしました。お年寄りからは、「ひ孫と同じぐらい。可愛くて涙が出た。」との言葉をいただき、達成感をもちました。



○6年生「総合的な学習の時間～風早の轍 発見！～」

1年間を通してMTの二宮先生にご相談しながら学習を進めました。夏休み前までに郷土史の資料を参考にするなどして、古代から現代までの安芸津の年表をまとめました。その年表から、江戸後期に塩田が盛んだったことが分かり、今もその歴史がのこる竹原市八塩づくりの体験や見学に行きました。子どもたちは、自分たちの住む町の、当時の暮らしぶりや塩づくりの苦勞を知りました。また、祝詞山八幡神社や万葉陶壁についての由緒ある歴史を知り、更に地域への愛着を深め、神賑行列の子どもやっこや、保野山の「万葉火」の点火準備に参加しました。自分たちが学んだことを多くの人に広めようと学習発表会「風早の轍」では、神賑行列や塩田の様子を再現するなどして、地域貢献に努めました。

